

にあり、次に男性では30歳代前半や40歳代前半、女性では20歳代後半や30歳代前半が顕著となっています。

特に女性の20歳代後半・30歳代前半の層のマイナス値が非常に大きく、①自然増減でも言及したように、この層は出生数（0～4歳人口）の動向に大きく影響を与えることから、この層の転出が人口減少の大きな要因になっていると考えられます。

図表1 男性の各5年間の推計純移動数

(単位:人)

男性		H26→H31	H31→H36	H36→H41	H41→H46	H46→H51	H51→H56
期首年齢	期末年齢	583	504	447	392	354	283
0～4歳	5～9歳	30	29	26	25	23	22
5～9歳	10～14歳	▲39	▲48	▲55	▲58	▲59	▲61
10～14歳	15～19歳	41	30	21	15	9	6
15～19歳	20～24歳	224	225	204	186	176	158
20～24歳	25～29歳	274	279	280	253	231	217
25～29歳	30～34歳	8	7	7	6	6	5
30～34歳	35～39歳	▲79	▲88	▲101	▲118	▲130	▲126
35～39歳	40～44歳	33	26	22	18	16	15
40～44歳	45～49歳	▲130	▲117	▲103	▲95	▲99	▲107
45～49歳	50～54歳	▲5	▲4	▲3	▲2	▲2	▲5
50～54歳	55～59歳	28	35	43	35	30	27
55～59歳	60～64歳	24	25	31	40	32	29
60～64歳	65～69歳	41	34	34	42	56	44
65～69歳	70～74歳	79	66	53	56	67	87
70～74歳	75～79歳	58	40	26	16	12	15
75～79歳	80～84歳	▲29	▲85	▲126	▲140	▲137	▲169
80～84歳	85～89歳	▲10	▲22	▲46	▲64	▲66	▲62
85歳～	90歳～	35	72	134	177	189	188

図表2 女性の各5年間の推計純移動数

(単位:人)

女性		H26→H31	H31→H36	H36→H41	H41→H46	H46→H51	H51→H56
期首年齢	期末年齢	1,011	910	652	334	198	159
0～4歳	5～9歳	▲59	▲81	▲92	▲100	▲106	▲111
5～9歳	10～14歳	12	11	11	9	8	8
10～14歳	15～19歳	70	59	48	42	36	31
15～19歳	20～24歳	425	410	373	338	318	285
20～24歳	25～29歳	180	195	187	169	152	143
25～29歳	30～34歳	▲77	▲92	▲116	▲122	▲120	▲116
30～34歳	35～39歳	▲215	▲224	▲252	▲303	▲313	▲300
35～39歳	40～44歳	43	29	20	15	12	8
40～44歳	45～49歳	▲15	▲30	▲34	▲37	▲44	▲56
45～49歳	50～54歳	79	94	73	62	54	52
50～54歳	55～59歳	5	7	7	6	7	8
55～59歳	60～64歳	▲5	▲5	▲8	▲9	▲8	▲3
60～64歳	65～69歳	42	33	35	42	49	38
65～69歳	70～74歳	91	77	60	63	77	91
70～74歳	75～79歳	131	124	104	82	87	104
75～79歳	80～84歳	144	184	172	144	113	121
80～84歳	85～89歳	123	146	178	160	132	104
85歳～	90歳～	37	▲27	▲114	▲227	▲256	▲248